

相田みつお名言集

インターネットクラブ勉強会 資料

2013年7月31日

福田幸男

人の心
 とは
 いかに
 と
 言ふ
 べし
 哉

カイモ一とカモモ一と
 ぶつかりマコするとすぐこわれ
 ちやうど、どちか竹わらかけれ
 ば、だいにしようか
 ちわちか、こころを、持ちましよう

よくまあわって
いるほどユマは
しずかかなんだ
な みつを。

枯れた
すずきが
まだ美しい
一回ちっはいい
一生けんめいに
生きてもきた
からだ
みつを。

うまたた
ときは
まろはだか
死ぬときは
そんまき
てゆい
みつたを

一ぼろひ
こころが
まぬる
たしを

かんぱんたいがら
いかにたいがら
日かたれ
みつたき

かんぱんたいがら
いかにたいがら
具体的に
動くことだね
みつたき

体験して
はじめ
自身に
だたあ
みつた

どんな
仕事でも
徹すれば
かならず
生かされる
るもの
です
みつた

二道

みつを

長い人生にはなあ
どんなに避けようとしても
どうしても通らなければ
ならぬ道
というものがあんだな

そんなときはその道を
だまって歩くことだな
自覚の疾や弱立音は吐かないでな

黙って歩くんだよ
ただ黙って
寂なんか見せちゃダメだぜ

そしてなあその時なんだよ
人間としてのいのちの
根がふかくなるのは